

研究課題名「プレガバリンの有効性に影響を与える因子についての探索」に関する情報公開

1. 研究の対象

2014年10月から2018年11月までの間に当院においてプレガバリンを処方された方。

2. 研究目的・方法・研究期間

【研究目的】

プレガバリン（商品名：リリカ）は神経からくる痛みに対して使用される鎮痛補助薬として知られています。しかし、坐骨神経痛に対してプレガバリンを使用した場合、疼痛を軽減しないといった報告もあり、神経障害性疼痛の種類によって治療の反応性は異なる可能性があります。そこで本研究では、プレガバリンの使用実態について調査を行い、有効性、安全性、及び各患者さんの背景要因を明らかにすることを目的とします。

【研究方法・期間】

2014年10月から2018年11月までの間に当院にてプレガバリンが導入または増量された方を対象とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、身長、体重、BMI、肝機能及び腎機能検査値、併用薬、有害事象の発生状況、痛みの強度、神経障害の種類、疼痛部位、全体的な知覚効果、QOL指標、緩和ケアチームの介入の有無等

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65 電話：052-744-2819

担当者：名古屋大学医学部附属病院薬剤部 千崎 康司

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院薬剤部 山田 清文